2020年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年２月４日

上場会社名　株式会社　ムサシ　上場取引所　東
コード番号　7521　ＵＲＬ　https://www.musashinet.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）羽鳥　雅孝
問合せ先責任者　（役職名）取締役財務部長　（氏名）山本　義明　ＴＥＬ　03-3546-7710

四半期報告書提出予定日　2020年２月６日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2020年３月期第３四半期の連結業績（2019年４月１日～2019年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年３月期第３四半期	28,361	5.9	1,155	－	1,198	－	927	－
2019年３月期第３四半期	26,776	△0.5	△39	－	25	△97.2	△14	－

（注）包括利益　2020年３月期第３四半期　867百万円　（－%）　2019年３月期第３四半期　△300百万円　（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年３月期第３四半期	124.58	－
2019年３月期第３四半期	△1.94	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年３月期第３四半期	44,214	27,782	62.8
2019年３月期	44,211	27,153	61.4

（参考）自己資本　2020年３月期第３四半期　27,782百万円　2019年３月期　27,153百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年３月期	－	12.00	－	12.00	24.00
2020年３月期	－	20.00	－		
2020年３月期（予想）				12.00	32.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2020年３月期の連結業績予想（2019年４月１日～2020年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,137	2.7	1,375	348.2	1,423	267.6	1,048	470.9	140.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年３月期３Ｑ	7,950,000株	2019年３月期	7,950,000株
②　期末自己株式数	2020年３月期３Ｑ	506,609株	2019年３月期	506,537株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2020年３月期３Ｑ	7,443,399株	2019年３月期３Ｑ	7,443,463株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報　(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 7
（追加情報） …… 7
（セグメント情報等） …… 7
３．その他 …… 8
継続企業の前提に関する重要事象等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続したものの、米中貿易摩擦や英国のＥＵ離脱等による外需減速の懸念や、中東地域の地政学リスクの高まりなど依然先行きの不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの各セグメントの概況は以下の通りであります。

（情報・印刷・産業システム機材）

情報・産業システム機材は、スキャナー等の電子化機器の販売が好調だったほか、工業用検査機材や業務用ろ過フィルターの販売も概ね順調に推移いたしました。また、文書のデジタル化事業についても官公庁、民間企業からの受注とも順調に推移いたしました。

印刷システム機材は、印刷材料の販売は概ね順調でしたが、ＣＴＰやＰＯＤなど印刷機器の販売が若干低調に推移いたしました。

（金融汎用・選挙システム機材）

金融汎用システム機材は、金融機関向け貨幣処理機器の販売が設備投資抑制により低迷いたしました。また、セキュリティ機器の販売に商談遅延の影響がありました。

選挙システム機材は、４月の統一地方選挙や７月の参議院選挙、全国の地方選挙向けに、投票用紙交付機の新製品をはじめ投票用紙読取分類機や計数機などの機器販売が好調に推移したほか、投開票管理システムの販売も伸長いたしました。

（紙・紙加工品）

紙・紙加工品は、医薬品向け紙器用板紙の販売は伸長しましたが、印刷用紙の販売が需要減少の影響を受けました。また、子会社エム・ビー・エス(株)における感圧紙等の販売がやや低調に推移いたしました。

（不動産賃貸・リース事業等）

不動産賃貸業、リース事業等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上高283億61百万円（前年同期比5.9％増）、営業利益11億55百万円（前年同期は営業損失39百万円）、経常利益11億98百万円（前年同期は経常利益25百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は９億27百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失14百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第３四半期連結会計期間末の流動資産の残高は338億46百万円となり、前連結会計年度末より４億32百万円減少いたしました。

減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少（20億11百万円）、増加の主な要因は、現金及び預金の増加（15億92百万円）であります。

（固定資産）

当第３四半期連結会計期間末の固定資産の残高は103億67百万円となり、前連結会計年度末より４億35百万円増加いたしました。

増加の主な要因は、有形固定資産（主に建物及び土地）の増加（４億20百万円）であります。

（流動負債）

当第３四半期連結会計期間末の流動負債の残高は143億65百万円となり、前連結会計年度末より２億35百万円減少いたしました。

減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（６億17百万円）及び賞与引当金の減少（２億18百万円）、増加の主な要因は、電子記録債務の増加（１億６百万円）及び流動負債の「その他」の増加（４億33百万円）であります。

（固定負債）

当第３四半期連結会計期間末の固定負債の残高は20億67百万円となり、前連結会計年度末より３億90百万円減少いたしました。

減少の主な要因は、役員退職慰労引当金の減少（４億44百万円）であります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末の純資産の残高は277億82百万円となり、前連結会計年度末より６億28百万円増加いたしました。

増加の要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益９億27百万円、減少の要因は、剰余金の配当２億38百万円及びその他の包括利益累計額の減少（59百万円）であります。

この結果、自己資本比率は62.8％（前連結会計年度末は61.4％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年10月29日付「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,747	20,340
受取手形及び売掛金	11,754	9,742
商品及び製品	2,739	2,816
仕掛品	78	82
原材料及び貯蔵品	470	516
その他	495	353
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	34,279	33,846
固定資産		
有形固定資産	3,216	3,636
無形固定資産	408	432
投資その他の資産	6,307	6,298
固定資産合計	9,931	10,367
資産合計	44,211	44,214
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,122	5,505
電子記録債務	3,698	3,805
短期借入金	3,516	3,516
未払法人税等	68	128
賞与引当金	425	207
その他	769	1,202
流動負債合計	14,600	14,365
固定負債		
退職給付に係る負債	214	213
役員退職慰労引当金	1,386	942
その他	855	910
固定負債合計	2,457	2,067
負債合計	17,058	16,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	24,190	24,879
自己株式	△576	△577
株主資本合計	26,827	27,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	214	196
退職給付に係る調整累計額	110	69
その他の包括利益累計額合計	325	265
純資産合計	27,153	27,782
負債純資産合計	44,211	44,214

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2018年４月１日 至　2018年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年12月31日）
売上高	26,776	28,361
売上原価	21,211	21,530
売上総利益	5,564	6,830
販売費及び一般管理費	5,604	5,675
営業利益又は営業損失（△）	△39	1,155
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	45	42
持分法による投資利益	―	26
貸倒引当金戻入額	3	0
その他	41	40
営業外収益合計	92	112
営業外費用		
支払利息	24	24
貸倒引当金繰入額	―	31
持分法による投資損失	1	―
退職給付費用	―	11
その他	2	2
営業外費用合計	27	70
経常利益	25	1,198
特別利益		
投資有価証券売却益	111	20
特別利益合計	111	20
特別損失		
投資有価証券評価損	14	―
特別損失合計	14	―
税金等調整前四半期純利益	122	1,218
法人税、住民税及び事業税	70	203
法人税等調整額	66	87
法人税等合計	137	291
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△14	927
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△14	927

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2018年４月１日 至　2018年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△14	927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△299	△17
退職給付に係る調整額	14	△41
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△285	△59
四半期包括利益	△300	867
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△300	867

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自2018年４月１日　至2018年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 （注）１	四半期連結損益計算書計上額 （注）２
	情報・印刷・産業システム機材	金融汎用・選挙システム機材	紙・紙加工品	不動産賃貸・リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	15,579	3,702	7,316	178	26,776	－	26,776
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5	－	－	203	208	△208	－
計	15,584	3,702	7,316	381	26,985	△208	26,776
セグメント利益又は損失（△）	△236	125	△43	114	△41	1	△39

（注）１．　セグメント間取引消去であります。

２．　セグメント利益又は損失（△）の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自2019年４月１日　至2019年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 （注）１	四半期連結損益計算書計上額 （注）２
	情報・印刷・産業システム機材	金融汎用・選挙システム機材	紙・紙加工品	不動産賃貸・リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	15,152	5,808	7,203	196	28,361	－	28,361
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	88	61	34	213	398	△398	－
計	15,241	5,869	7,237	410	28,759	△398	28,361
セグメント利益又は損失（△）	△150	1,232	△38	109	1,153	2	1,155

（注）１．　セグメント間取引消去であります。

２．　セグメント利益又は損失（△）の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。